

つながりと交差 (クロッシング): 認定とその一歩先のための、フォーカシング・ウィークロング

2016年10月1日~7日 ニューヨーク、ギャリソン・インスティテュート

“...交差によって私たちは、互いの中に、これまでの私ともあなたとも異なるものを創造する”

(ユージン・ジェンドリン)

([中文](#)) ([English](#)) ([Español](#)) ([Français](#))

Dr. ジャネット・クライン・スカラシップ (奨学金) について

インタラクティブ・フォーカシングが目指しているのは、「自分と違う人がそこにいる、そこでのあなたの直接的な体験へと触れる」ということへと自分を開き(allowing you)、親密なつながりを築くことです。



ジャネット・クラインはインタラクティブ・フォーカシングの共同創設者です。インタラクティブ・フォーカシングは、それぞれの空間を作り出すことで共感を体験することが可能になる場です。ジャネットはこの空間を「共感の時(the empathic moment)」と呼びました。ジャネットはまた、「フォーカサー・アズ・ティーチャー (教え手としてのフォーカサー)」のフィードバックや、インタラクティブな応答や、関係の確認

(relationship check)をインタラクティブ・フォーカシングのモデルに加えました。これらが一つにあわさることで、フォーカシングの新しい意義あるやり方が形になるのです。

ジャネットは 2010 年の 2 月に、突然の死を迎えました。その後まもなく、フォーカシング・インスティテュートとジャネットの家族は、ジャネットのはかりしれない貢献を称え、彼女の残したものをフォーカシング界に受け継いでいくために基金を設立しました。この奨学基金は、金銭面での困難が障壁とならず、フォーカシングを学び広げたいという熱意を持った人が誰でも最良のトレーニングにアクセスできるようにという、クライン博士の国際フォーカシング・コミュニティへのヴィジョンを促進し、継続していくものです。

この基金は、フォーカシングの導入が途上であるような、あるいはフォーカシングの新しい形での適用が発展しつつあるような場所にフォーカシングを広げるための積極的な関わり(commitment)と能力(capacity)を示している人たちを、サポートするものです。インタラクティブ・フォーカシングのトレーニングを受けていたり関心を持っている候補者については、特段の考慮をします。

基金がはじまってからこれまで、16件の奨学金が参加者に付与されています。基金がなければ(ウィークロングに)来ることの難しかった人たちです。

ここをクリックすると、2015年のジャネット・クライン奨学金の授与者からの感謝の手紙を読むことができます。

申請者は以下の条件を満たす必要があります。

- ・ フォーカシングの導入が途上であるような、あるいはフォーカシングの新しい形での適用が発展しつつあるような場所にフォーカシングを広げる活動についての、積極的な関わり(commitment)および能力(capacity)を示すこと。
- ・ フォーカシング・インスティテュートのメンバーであること。トレーニングの期間を通じてメンバーであったことが望ましい。
- ・ すでに学びを進めている、あるいは認定を受ける準備ができていて、ウィークロングへの参加が適切であること。
- ・ ウィークロングへの参加に金銭的な援助が必要であること。

インタラクティブ・フォーカシングのトレーニングを受けていたり関心を持っている応募者については、特談に考慮をします。これは、ジャネット・クラインがインタラクティブ・フォーカシングに情熱を注いでいたからです。ウィークロングでは、彼女を称え、ファシリテーション・チームがインタラクティブ・フォーカシングの

ワークショップをおこないます。

奨学金への申し込み

もしあなたが考えているのが今年のウィークロングへの参加なのであれば、この奨学金への推薦について、できるだけ早くコーディネーターと話をしてください。

個人の奨学金がどの程度のものになるかは、経済的なニーズや利用可能な財源によります。奨学金の額は、授業料の部分的な減額から、(稀な例ですが)授業料、部屋代と食費、渡航費を含めた全額援助まで、さまざまです。申請者は、自分が何については支払うことができ、何については支払うことができないのかを明確に示す必要があります。残念なことに基金には限りがありますので、申請者のすべてが奨学金を受けられるわけではありません。

申し込み期限は、2016年4月30日です。私たちは、コーディネーターからの推薦文と、申請者からすべての資料、その両方を、4月30日までに受け取る必要があります。

4月30日までに必要な資料

1. 認定コーディネーターからの推薦。推薦文に決まった長さはありませんが、250ワードから500ワード程度のものが多いです。
2. 申請者の関心表明書(letter of interest)。申請者のフォーカシングにおけるバックグラウンドや、フォーカシングを広める上での関心、必要な資金の額を説明するものです。申請書はすべて英語である必要がありますが、希望があればもう一部、あなた自身の言語で書かれた資料をあわせて提出することもできます。申請書に決まった長さはありませんが、あなたのことをたくさん知ることができれば、私たちはそれだけよりよい決定をすることができます。典型的には、500ワードから750ワードの長さです。

コーディネーターの方々へ：[こちら](#)もご覧ください。

私たちはまた、ウィークロングをすべての人にとってアクセス可能なものにしつづけるために、あなたの[寄付](#)を歓迎します。他の人にも寄付を勧めていただければと思います。